

平成 21 年度の推進策（方針案）

【環境教育を進める取り組みの柱】

札幌市環境教育基本方針で定めた 4 つの取り組みの柱

人材の育成

情報の共有・活用

プログラムの作成

機会づくり・場づくり

人材の育成について

環境教育リーダーの派遣件数増加に向けた取り組み

札幌市の他部局、児童会館などとの連携を強化し、環境教育リーダーの派遣を増やすことで、リーダーのレベルアップを図る。

環境教育プログラムを活用した授業研究の実施

環境教育プログラムを活用した授業研究を継続して実施することで、教員のレベルアップを図る。

情報の共有・活用について

環境教育・活動に関する実践例の紹介（札幌市環境保全のページ）

環境教育・活動に熱心な学校や団体の取り組みをホームページで紹介し、周知を進めていく。

環境プラザホームページの充実

使い勝手を良くするために、来年度の早い時期にリニューアルの予定。その後、内容についても更新を図っていく。

プログラムの周知・有効活用について

環境教育プログラム・総合的環境副教材の周知・活用の推進

アンケート結果を参考に、内容や使い勝手を良くしていく。また、総合的環境副教材の「教師用手引き」を作成し、ホームページで公開する。

学校におけるエコライフレポートの取り組み推進

取り組み校を増やすことで、子どもたちの環境活動の輪を広げていく。

〔参考〕今年度のレポート提出枚数（小・中学生）

夏レポート：24,635 枚 冬レポート：95,615 枚

環境教育プログラムを活用した授業研究の実施（再掲）

機会づくり・場づくりについて

校外学習用バス貸出・クリック募金の対象拡大

来年度から、小学校に加え中学校も対象とする。また、クリック募金の教材として、学校給食フードリサイクルのための「苗」を対象に加える。

環境教育施設バスツアーの充実

来年度は、6回程度の実施を目指す（今年度：3回）。

「こども環境サミット札幌」の成果の拡大を目指したイベントの実施

今年度は「環境未来カップ」と「さっぽろ こども環境コンテスト」を開催したが、来年度は2つのイベントのあり方について検討を行い、「ポストこどもサミット」事業としてふさわしいイベントとする。